

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	HIYOKO STUDY 栗生教室(放課後等デイサービス)			
○保護者評価実施期間	2026年 4月 10日		～	2026年 4月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数)	14
○従業者評価実施期間	2026年 4月 10日		～	2026年 4月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 6月 17日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎日、違う内容の活動を行っている。	違う活動を行えることによって、それぞれに合った支援内容を構築でき、より強みを引き伸ばしていけるよう工夫しております。	ひとりひとりに寄り添って個別支援も行える環境設定を構築していきます。
2	異年齢同士で協力しながら活動を行っている。	活動の中で、小学生と中高生と一緒に活動するため、それぞれに合ったプログラムを提供できるよう進めています。	小学生と中高生と一緒に活動する中で、小学生はお兄さんたちのように立派に頑張りたいという気持ち、中高生は、小学生のお手本となれるようお互いに刺激し合いながら活動できるよう進めて参ります。
3	社会体験を通じて更なる成長に期待出来る。	活動を通して、お金の学習や生活スキルを学び、これからの成長に向けた取り組みを心がけて行っています。	より実践的にお金を実際に使う場面設定や、洗濯の仕方など、生きていくための力を身につけていけるような取り組みを行っています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の児童館や学校、関係機関や幼稚園などとの実際の様子を確認できていない。	担当者会議などで情報共有は行われているが、実際に療育内容を見てもらうなど、活動の様子を互いに見る機会がなかったと感じています。	情報共有を含めて、実際の様子を確認する機会を設けてもらえるよう調整していきます。
2	保護者様に活動の場や交流の機会を設けることができなかった。	活動の中で、日々の支援に追われてしまい計画しるところまで至らなかった。	次年度は、開催できるよう努めて参ります。
3			